

CLIL指導力養成ワークショップ 仙台

CTEP Workshop for CLIL Pedagogies in Sendai

テーマ：教師も学ぶ学習者中心のCLIL授業の展開 2

Theme: Ways to create a learner-centred and teacher-learning CLIL lesson 2

- ・ 3月に立教大学でCLILにおける学習者中心 (learner-centredness) を考えました。結論には至りませんが多くは好意的です。カギは、状況に応じた学習者に対する支援(scaffolding)をどのようにするかで、学習者の意思決定を優先する教師の姿勢にあるようです。小学校、中学校、高校、大学、塾などのそれぞれの状況を考えると、多様で柔軟なアプローチが大切です。また、教師も生徒も「学びを楽しむ」ような環境をつくるのが重要な気がします。
 - ・ しかし、現状の日本の教育には多くの課題があることを実感しています。言語教育（日本語や英語など）は常にその課題と関連しています。CLILだけで解決はできませんが、CLILに解決の糸口はあるように思います。
 - ・ CLILの理念は、学ぶ内容を統合し、言語を統合し、学びを統合する、と考えています。簡単に言えば、学習を細分化するのではなく、学習者を中心に学びを統合することです。いっしょに学習者中心のCLILアプローチをふりかえりましょう。



講師（予定）

笹島茂（CLIL-ite理事長、前日本CLIL教育学会会長、元東洋英和女学院大学 & 埼玉医科大学教授）

Barry Kavanagh（東北大学言語・文化教育センター准教授）

当日の時間割（予定）＊ワークショップはバイリンガル（英語、日本語）で行われます。

13:00 開会

13:15 - 14:00 Ways to create a learner-centred and teacher-learning CLIL lesson（笹島茂）

14:10 - 14:50 Material creation through whiteboard videos (Barry Kavanagh)

15:00 - 16:30 Workshop: CLIL material creation through multimodal tools

学習者中心を基本に、学習教材ビデオなどを作成します。

携帯、タブレット、ラップトップを用意して参加してください。

16:30 - 17:00 ふりかえりとまとめ



日時：6月23日(日) 13:00～17:00

場所：東北大学川内キャンパス（教室は後日決定）

教材費など：2000円（当日徴収）（前日のJ-CLIL東北大会参加者 1000円）

＊問い合わせ・参加申込（氏名、所属、メール連絡先、CLIL実践などを添えて）

CLIL教員研修研究所事務局(CLIL-ite): infoclilite@gmail.com

ウェブサイト：<https://www.clil-ite.com>